



# SHONAI L.O.O.P /ART & ARCHITECTURE PROJECT

ピーク時には年間14万人もの入館者を集め、デザイン的にもユニークな建築であった豊中市庄内温水プール。

豊中市の最南端・大島町にあるこのプールは2011年に休館しましたが、2020年4月に新しいスポーツ施設として生まれ変わる予定です。

2017年、この新しいスポーツ施設の第2期工事基本計画を、大阪大学の建築・都市人間工学研究室の学生が、地域住民の方々と対話しながら作成しました。

その基本計画では、この場所が、スポーツ、健康、緑、芸術などをテーマに人が集まり、多様な居場所を作り、そこから交流が生まれ、さらにはその交流の輪が庄内地域、さらなる広域へと広がることを目指しています。

## ■計画主題

### LOOP-01 住民と第三者の交流

→ 住民主体の施設へと発想の転換をしたい。

### LOOP-02 公共施設の更新

→ スポーツ専用施設から多機能化による相乗効果を生み出したい。

### LOOP-03 豊中市南部地域の活性化

→ 新しいスポーツ施設によって、地域の魅力向上に寄与したい。

### LOOP-04 社会インフラ（水の循環）のあり方

→ 「下水処理」と「健康・交流・スポーツ」の融合を図りたい。

## ■住民との対話

- 4月26日（水） 現地見学
- 5月16日（火） 住民懇話会1
- 6月19日（月） 懇話会への提案の確認 @豊中市役所
- 6月26日（月） 住民懇話会2（計画案に対する意見交換）



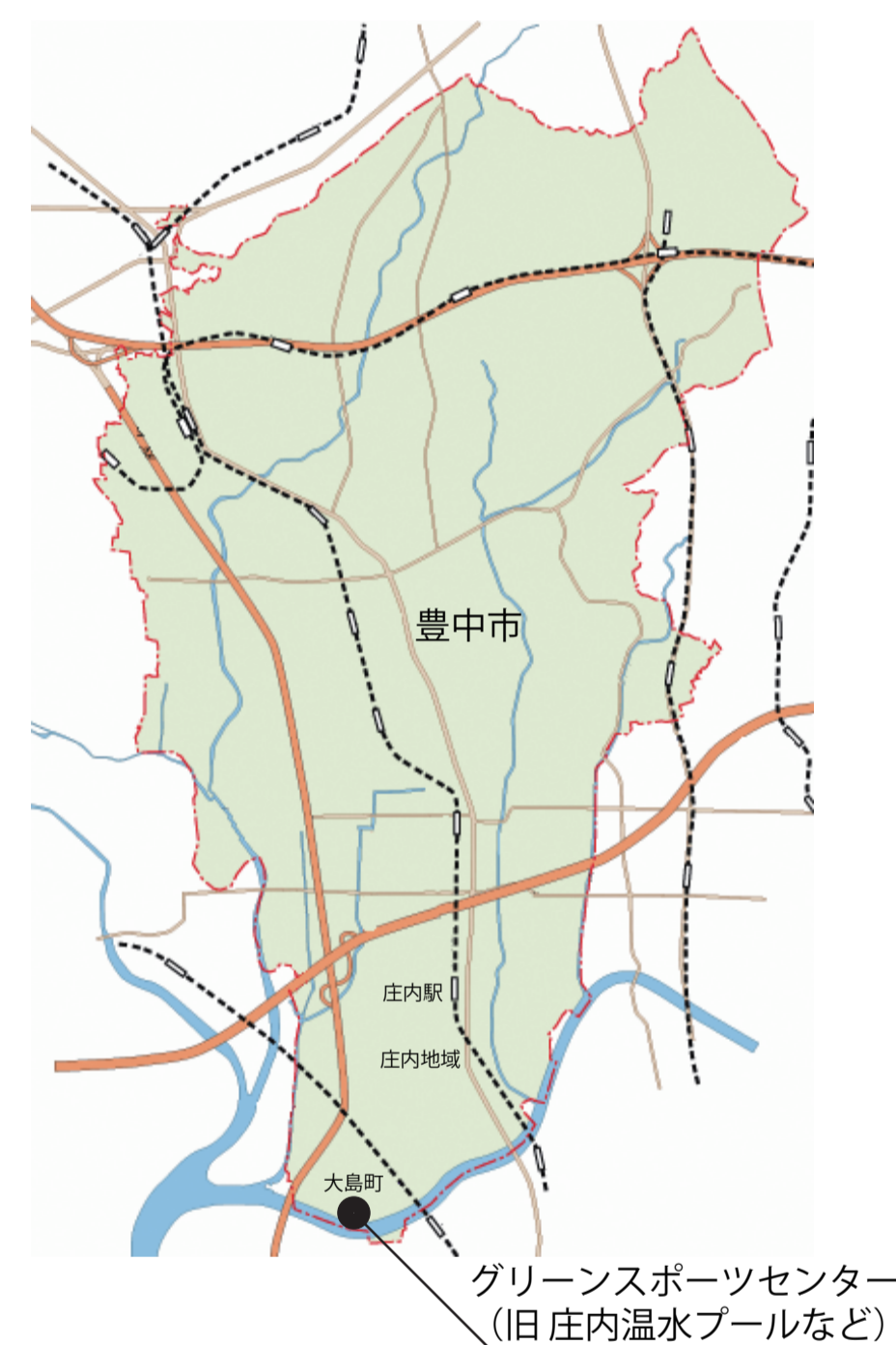
7月6日（木） 計画案の確認 @豊中市役所

7月31日（月） 住民懇話会3（基本計画の報告）

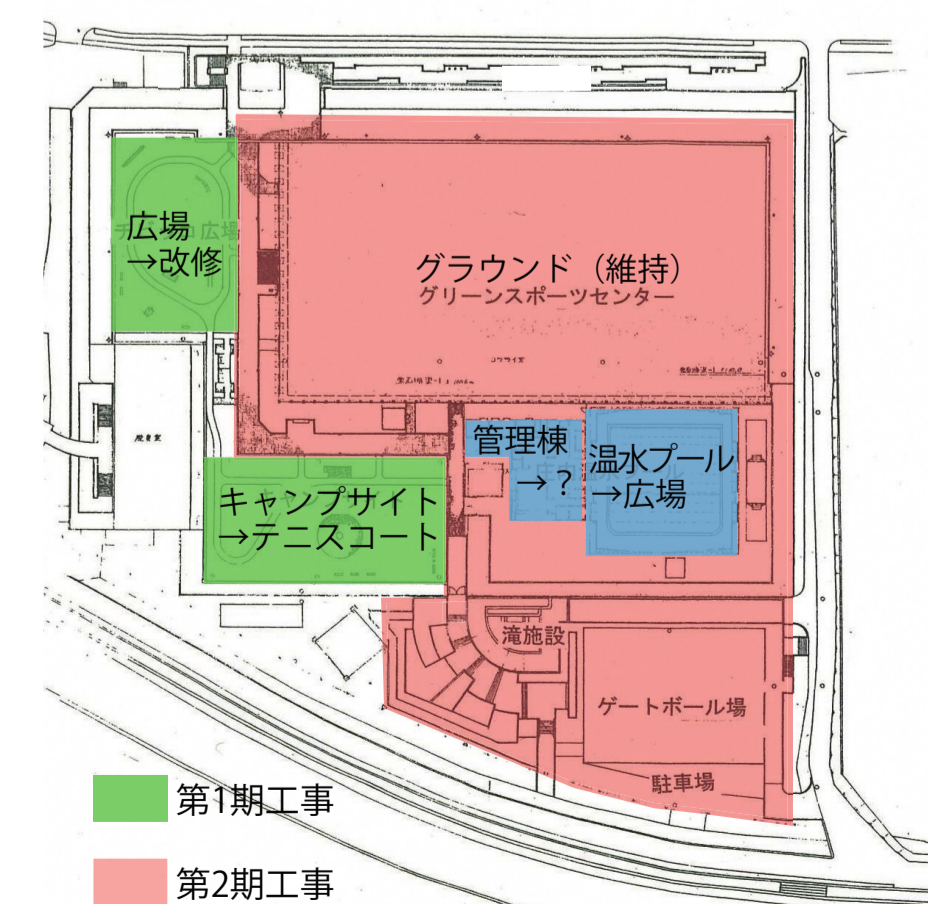


8月8日（火） 建築設計事務所への説明 @豊中市役所

## 大阪大学の学生による 第2期工事基本計画案



グリーンスポーツセンター  
(旧庄内温水プールなど)

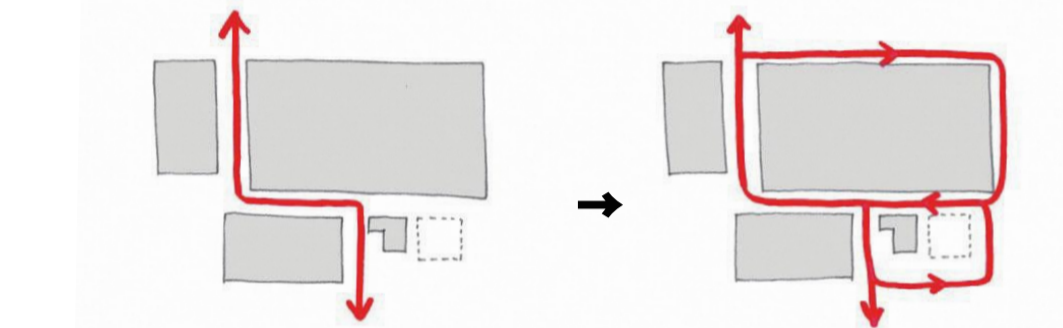


グリーンスポーツセンターの改修計画

## ■計画コンセプト

グラウンドの外周を整備することで、  
**回遊性と多様な居場所を創造する。**

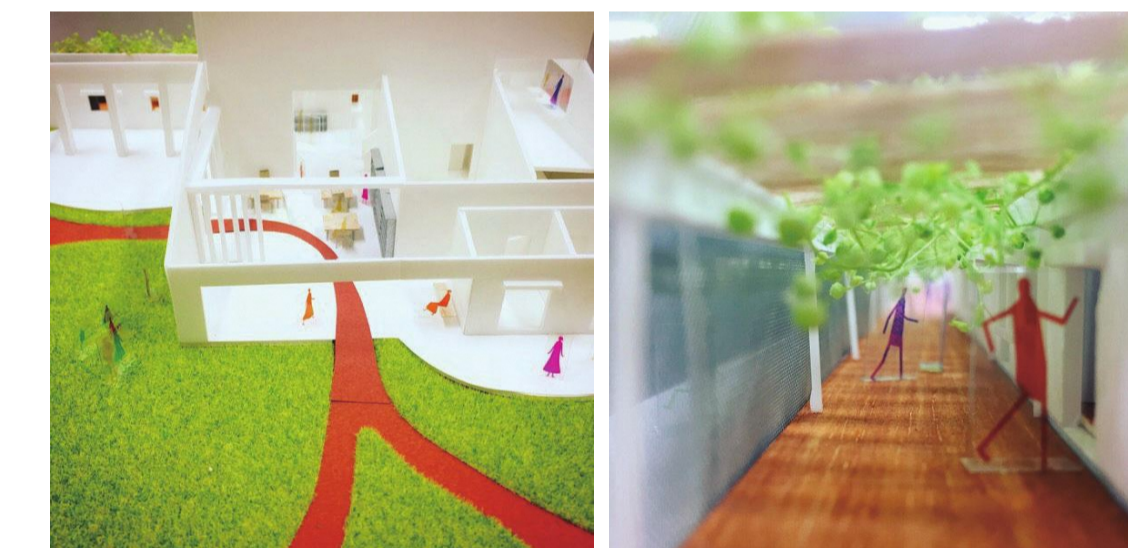
### 01 健康の小径



グラウンドの外周を「健康の小径」として歩道を整備し、公園全体に回遊性を生むことを提案します。

サッカーを観戦したり、散歩の休憩をしたり、小径に点在する居場所がまちの人々の憩いの場となります。

### 02 みんなの広場



既存プールの排水設備を活用し、プールの躯体を再利用した「みんなの広場」を提案します。

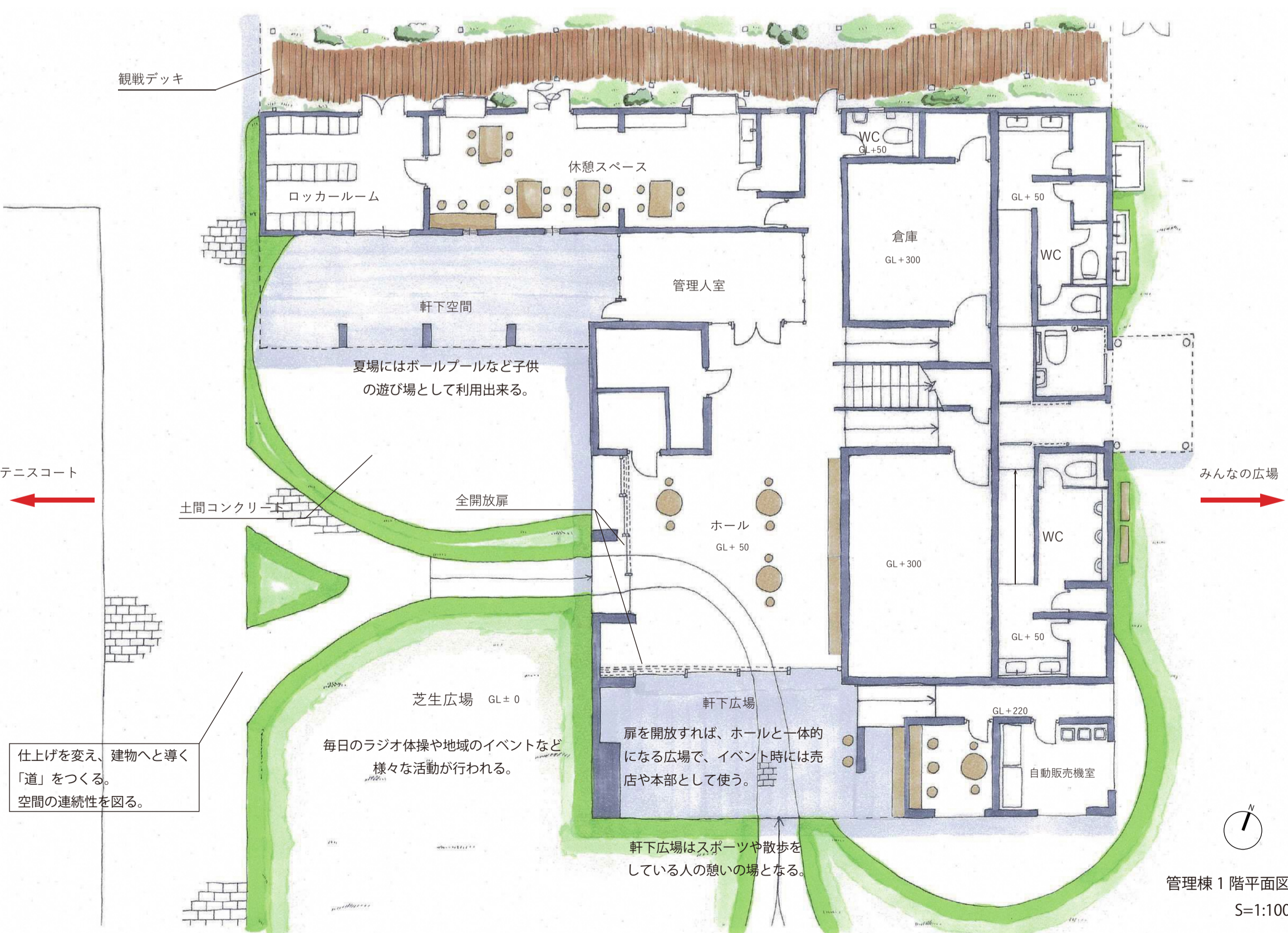
みんなで大縄跳びをしたり、親子でキャッチボールをしたり、多様な活動を受け入れる広場になります。

### 03 交流の場としての管理棟



管理棟も道とひとつながりとなるように動線を引き込むことを提案します。

全開放式の扉とすることで夏場は常時開放にしアート・写真ギャラリーなどとして利用するほか、グラウンド利用者やスポーツ観覧者の休憩スペースを配置し、利用者の快適な環境を目指します。



管理棟1階平面図  
S=1:100